



## “いきがい”は みんなの手で

現在、県内の六十五歳以上のお年寄りの人数は、約十二万四千人で、県人口の約十一・四％です。

毎年その割合が増え、社会の高齢化が進んでいます。

お年寄りの幸せ、いきがいくくりは、県民一人ひとりが、自分の問題として考え協力しあっているかなばなりません。

今年の老人福祉週間のテーマは“みんなで生かそう老人の力”です。

長年培われた、お年寄りの貴重な経験や知識などが、やもすると埋もれがちです。みんなが協力して、お年寄りのもてる力を生かしながら、活力あるふさとづくりを進めようではありませんか。



▲ 素晴らしいハーモニー、スッキリとした姿勢、おだやかな笑顔。  
「コーラスが楽しく、練習日が待ちどおしくて」と口をそろえる。  
結成以来19年の歴史をもち、県民合唱祭には第1回から連続出場を続けている雄湊老人クラブコーラス部のみなさん。



「足の位置に気をつけて、手拍子をしかりと」  
若者を教える姿は、やさしさの中にも厳しさが……。郷土の伝統の盆踊りを、正しく伝えようと、頑張っている橋本市の老人クラブの方々。  
「ここでもお年寄りの力が社会に生かされています。」

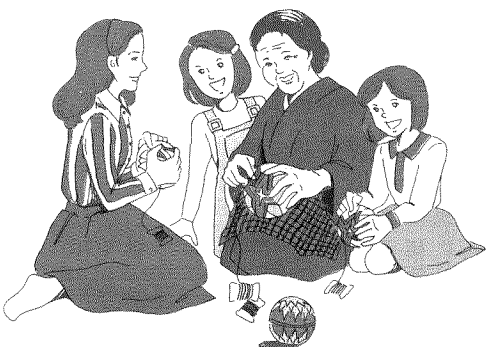


「楽しくて、私のいきがいです」  
「孫と嫁から湯のみを注文されているんですよ」  
当初「生きがいと創造の事業」の一環として開設された現在の御坊市老人大学陶芸教室は、二年が経過します。ますますさかになっていきます。現在は、六十歳以上のお年寄り三十五人が参加し、和気あいあいと土に親しんでいます。

## みんなで生かそう 老人の力

老人福祉週間 9月15日(敬老の日)→9月21日

- お年寄りの活動をみんなで支えあいましょう。
- お年寄りの暮らしと健康をみんなで守りましょう。
- 地域ぐるみで一人暮らしや寝たきりのお年寄りの生活を助けましょう。
- 自分の問題として、これからの老人福祉を考えましょう。





展覧会・茶会・講座等

和歌山県いけばな協会展

9月2日(木)正午～9月7日(月)  
県立近代美術館 入場無料  
〔主催〕和歌山県いけばな協会  
☆約400点展示  
問い合わせ 0734-22-4827 高木方

美術サークル連合展

9月17日(木)～9月20日(日)  
県立近代美術館 入場無料  
〔主催〕和歌山県美術サークル連絡協議会  
☆約100点展示  
問い合わせ 07348-2-2615 福井方

ふるさと歴史講座

9月19日(土)13:30 岩出町役場会議室  
和高伸二 「根来寺の文化財」  
10月3日(土)13:30 新宮市福祉センター  
藺田香融 「神武東征神話と熊野地方」  
10月24日(土)13:30 田辺市青少年研修センター  
永島福太郎 「熊野の西都田辺」  
11月7日(土)13:30 川辺町保健センター  
梅溪 昇 「会津の敗走と日高地方」  
参加無料 〔主催〕和歌山県

和歌山県勤労者美術展

9月24日(木)～9月27日(日) 県立近代美術館  
☆洋画・日本画・書・写真・彫塑・工芸・生花  
9月30日(木)～10月2日(日) 新宮市民会館 (優秀作品南紀展)  
☆洋画・日本画・書・写真の入賞作品  
入場無料 〔主催〕和歌山県  
〔搬入日〕9月19日、20日(9:30～16:30)ただし  
生花は9月17日までに申し込み9月23日活込み

歴史講座「きのくに歴史への招待」 高野 編

9月26日(土)14:00  
10月3日(土)14:00 県民文化会館小ホール  
10月11日(日)14:00  
10月24日(土) 現地講座  
受講料 1,000円 (申込受付済)  
〔主催〕和歌山県民文化会館  
☆講師=和多秀乗 和高伸二 熱田公

和歌山県華道連盟いけばな展

10月3日(土)～10月4日(日)  
粉河町農協本所3階 入場無料  
〔主催〕和歌山県華道連盟  
☆約100点展示  
問い合わせ 0734-72-6565 南垣内方

特別展「下村観山展」

10月3日(土)～10月26日(月)  
県立近代美術館 (火曜日は休館日)  
一般 500円(400円)  
学 生 400円(300円) (内は20名以上の団体)  
小・中学生 150円(100円)  
〔主催〕和歌山県立近代美術館

特別展「岩橋千塚とその周辺」

10月3日(土)～11月15日(日)  
紀伊風土記の丘資料館 (月曜日及び祝日の翌日は休館日、ただし10月11日は開館)  
一般 200円(150円)  
学 生 150円(100円) (内は20名以上の団体)  
小・中学生 80円(50円)  
〔主催〕紀伊風土記の丘管理事務所  
☆展示資料約500点  
問い合わせ 0734-71-6123 紀伊風土記の丘

和歌山県歌人クラブ秋季大会

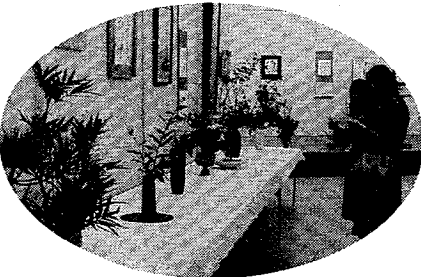
10月10日(土)13:00  
和歌山三菱自動車KKビル4階集会室  
参加費300円 〔主催〕和歌山県歌人クラブ  
☆短歌の創作と鑑賞の集い  
問い合わせ 0734-23-7333 多紀方

表千家同門会秋季茶会

10月11日(日)9:30～15:30  
高野山金剛峯寺 無料  
〔主催〕表千家同門会和歌山県支部  
問い合わせ 0734-44-0891 久馬方

第28回和歌山文化協会総合美術展

10月14日(木)～10月18日(日)  
和歌山市民会館市民ホール 入場無料  
〔主催〕和歌山文化協会  
☆会員の創作作品約160点展示  
問い合わせ 0734-44-9327 相馬方



第11回和歌山県俳画協会展

10月15日(木)～10月18日(日)  
和歌山市民会館展示室 入場無料  
〔主催〕和歌山県俳画協会  
☆会員の俳画作品約160点展示  
問い合わせ 0734-22-3766 古村方

特別展「紀ノ川流域の仏像」

10月17日(土)～11月23日(月)  
県立博物館 (月曜日と祝日の翌日は休館日、ただし11月23日は開館)  
一般 400円(300円)  
学 生 250円(200円) (内は20名以上の団体)  
☆「弱法師」(重文)ほか60点



小・中学生 130円(100円)  
〔主催〕和歌山県立博物館  
☆慈光門福院「十一面観音立像」ほか約50体

淡交茶会

10月18日(日)10:00～14:00  
海南市温山荘 茶券 1,000円  
〔主催〕裏千家淡交会和歌山支部  
問い合わせ 07378-8-7491 江川方

紙人形展

10月30日(金)～11月2日(月)  
県立近代美術館 入場無料  
〔主催〕紙人形グループたちばな  
☆紙人形約 100点展示  
問い合わせ 0734-26-2157 浅野方

昭和56年度和歌山県文化表彰

11月2日(月)県民文化会館5階大会室  
〔実施〕和歌山県  
☆和歌山県文化賞、文化功労賞、文化奨励賞

俳句大会

11月8日(日)13:00  
県民文化会館5階大会室 参加無料  
〔主催〕紀伊山脈刊行会  
☆第28集紀伊山脈刊行記念俳句大会  
問い合わせ 0734-22-7838 山本方

第35回県展

県立近代美術館 入場無料  
第1期 生花・書・彫塑  
11月12日(木)～11月16日(月)  
第2期 日本画・写真・工芸  
11月19日(木)～11月23日(月)  
第3期 洋画  
11月26日(木)～11月30日(月)  
新宮地方展  
各部門選抜 (生花を除く)  
新宮市民会館 入場無料  
12月11日(金)～  
12月13日(日)



和歌山県高等学校 総合芸術祭

〔主催〕和歌山県教育委員会  
和歌山県高等学校芸術科教育連盟  
和歌山県高等学校邦楽連盟  
和歌山県高等学校演劇連盟  
和歌山県高等学校写真連盟

第29回書道展

9月10日(木)～9月14日(月)  
県立近代美術館 入場無料

第17回高校邦楽定期演奏会

9月23日(水)10:30  
県民文化会館小ホール 入場無料

第29回音楽発表大会 器楽・吹奏楽の部

11月12日(木)12:00

民芸展

11月16日(月)～12月5日(土)  
県民文化会館玄関展示コーナー 入場無料  
〔主催〕和歌山民芸協会  
☆鬼瓦約15点展示 (火曜日は休館日)  
問い合わせ 0734-24-2945 中谷方

第24回盆栽展

12月4日(金)～12月6日(日)  
県民文化会館3階特設集会室 入場無料  
〔主催〕和歌山盆栽園芸会  
日本盆栽協会和歌山支部  
☆約 100点展示  
問い合わせ 0734-33-3372 西脇方

写真展「紀州路のニュース」

12月24日(木)～12月27日(日)  
県立近代美術館 入場無料  
〔主催〕全日本写真連盟和歌山県本部  
☆約 100点展示  
問い合わせ 0734-24-9096 井上芳

〔主催〕和歌山県教育委員会  
和歌山県立近代美術館  
毎日新聞和歌山支局  
新宮市教育委員会 (新宮地方展)  
搬入・10月23日(9:30～16:00) 田辺市立  
勤労青少年ホーム・串本町公民館・県立新宮  
高校・10月31日、11月1日(9:30～16:30)  
県立近代美術館  
ただし、生花は10月31日か11月1日に申し込みを11月10日活込み  
出品料 1点につき 1,000円

和歌山県高等学校 総合芸術祭

和歌山市民会館大ホール 入場無料

第29回音楽発表大会 合唱の部

11月13日(金)12:00  
和歌山市民会館大ホール 入場無料

第34回演劇発表会

11月14日(土)9:40  
県民文化会館小ホール 入場無料

第3回写真展

12月3日(木)～12月7日(月)  
県立近代美術館 入場無料

第29回美術展

12月17日(木)～12月21日(月)  
県立近代美術館 入場無料

お知らせ

県庁は〒640和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

☆ごあんない

ふるさと歴史講座を開きます

●「根来寺の文化財」調査研究の近況と問題点 ―11月19日午後1時半―、岩出町役場会議室で、(講師)神戸山手女子短大教授、和高伸二氏。申込受付那智県事務所県民生活課 ☎(07366)212-0101  
●「神武東征神話と熊野地方」11月3日午後1時半、新宮市福祉センターで、(講師)関西大学教授、藺田香融氏。申込受付 東牟婁郡事務所県民生活課 ☎(0735)22-85551  
申込は電話かほかきで(先着順) 申込は龍神村役場 ☎(07397)810111へ。

民謡、方言の調査にご協力ください

このたび県では、次第に失われつつある貴重な民俗文化財である民謡と方言を調査記録することになりました。  
民謡は今年度から2年間県下全域で、また方言は3年間、那賀郡、和歌山市、御坊市、田辺市、新宮市で調査します。この調査期間中、県が委嘱した調査員が伺います。ご協力を。

あんまマッサージ指圧はり、きゅうは有資格者に受けましょう！

あんまマッサージ指圧、はり、きゅうを業とする場合は資格が必要です。肩のこりや腰の痛みなどで、これらの施術を受ける時は、有資格者に受けましょう。無資格者に受けると健康に害があったり、事故につながる恐れがありますので注意しましょう。くわしくは最寄りの保健所へ。

和歌山県婦人文化展へ出品しよう！

「くらしの中にゆたかな文化を」をテーマとした婦人文化展です。  
開催日・場所 来年2月26日(土) 28日、丸正屋(和歌山市内) 応募対象 県内に在住する婦人作品の種目 美術、工芸、手芸、書(管理に困難な生花等除く) 一人一点に限り、共同製作も可 提出 12月26日までに各員事務所 所民生課か県庁青少年育成課へ。ただし、先着30点で締め切ります。くわしくは提出先へ。

山村青年との交歓会でさわやかな出会いを！

みどりといで湯の里、龍神村で、都市青年と山村青年の交流集会を開きます。ナウな女性のあなたも山村青年との話し合いの中で、山村の良さを体験してみませんか。  
募集対象 和歌山市、御坊市など都市に居住または勤務する未婚女子青年。  
開催日 10月24日(土)、25日(日) 内容 自然散策、キャンプファイヤ、意見交換、植樹など  
申込 9月20日までに日高郡龍神村役場林業課へ。(先着五十人になり次第締め切ります) 申し込みは龍神村役場 ☎(07397)810111へ。

心身障害児の巡回就学相談会を開きます

医師や学校の先生など専門家による総合判断チームを編成して相談を受け付けます。  
対象 主として4～6歳児  
開催日・場所 9月24日(木)橋本市教育文化会館、9月29日(火)和歌山市教育文化センター、10月8日(水)海南市民会館、10月9日(木)美浜町中央公民館、10月20日(土)東牟婁総合庁舎(各会場共に午前10時から相談を開始します) 申し込みなどくわしくは、各市町村の教育委員会か県教育庁学校教育部へ。

愛犬には、登録と狂犬病予防注射をお忘れなく

●生後九十日以上の子犬は、毎年一回登録し、首輪に鑑札を。  
●狂犬病予防注射を毎年、春と秋の二回受け注射済票を首輪に。  
※10月1日から県下各地で集合予防注射が行われます。くわしくは市町村役場または保険所へ。

救馬瀨・高畑山コース 自然愛護テコロジー

日時 10月11日(日) 午前10時集合 熊野高校(西牟婁郡上富田町朝来) 国鉄朝来駅から徒歩15分 コース 滝水の流れる救馬瀨観音から田辺湾が一望できる高畑山へ。熊野古道にまつわる王子跡が点在する十一キロの王子跡は県庁自然保護課、各員事務所県民生活課、上富田町役場へ。

# 豊かな心ひろがる文化

## 第14回県民文化祭催し一覧

ここで紹介している催しは、8月20日現在で作成したものです。

問い合わせは主催者または県庁文化振興課へ

### 音楽・演劇・講演等

#### 県民文化祭開幕フェスティバル 高等学校総合芸術祭開会式

9月5日(土)13:30 県民文化会館大ホール  
入場無料(整理券)〔主催〕和歌山県、和歌山県教育委員会

☆第1部〔高校生の音楽会〕  
高校総合芸術祭の部門別紹介  
☆第2部〔古典落語をきく会〕  
落語鑑賞教室  
古典落語 笑福亭松鶴「高津の富」ほか

#### 第1回流友会謡曲大会

9月19日(土)11:00 県民文化会館小ホール  
入場無料〔主催〕県民謡曲流友会  
☆県下謡曲愛好者による謡と仕舞の会  
問い合わせ 0734-53-1648 宇治田方

#### きのくに ふれあい ひろば

#### われら人間

#### コンサート

9月19日(土)13:30 県民文化会館大ホール  
入場無料(整理券)  
〔主催〕和歌山県民文化会館  
きのくにふれあいひろば実行委員会  
☆国際障害者年にちなみ、地元出演者とゲストとの共演によるふれあいコンサート  
ゲスト=秋山ちえ子、松山善三、黒柳徹子、松島トモ子ほか

#### 第5回ファミリーコンサート 「親子の楽しいオーケストラ」

10月2日(金)18:30 県民文化会館大ホール  
親子 4,000円 一般 2,500円 小・中・高生 2,000円  
〔主催〕毎日新聞和歌山支局、宮井楽器  
☆プロコフィエフ「ピーターと狼」  
ジュニアオリジナルコンサートほか  
出演=手塚幸紀大阪フィルハーモニー交響楽団 岩内佐織 浦野由佳 中沼バレエ団他  
問い合わせ 0734-26-2341 宮井楽器

#### 8ミリ映画祭

10月3日(土)18:30 県民文化会館小ホール  
10月24日(土)18:30 新宮市蓬萊小学校講堂  
入場無料 〔主催〕和歌山県小型映画連盟  
☆県下8ミリ映画同好会から推せんされた優秀作品12点(予定)を上映  
問い合わせ 0734-23-3313 本谷方

#### 邦楽芸能祭

10月4日(日)13:30 県民文化会館小ホール  
入場無料(整理券)  
〔主催〕和歌山県邦楽芸能協会  
☆邦楽各分野の専門家による邦楽芸能  
問い合わせ 0734-36-3341 御前方

#### 民俗芸能大会移動巡回公演

10月4日(日)11:30 紀伊風土記の丘  
10月18日(日)11:30 入場無料  
〔主催〕和歌山県教育委員会  
和歌山県民俗芸能保存協会  
☆4日 岡崎の団七踊 上野の獅子舞ほか  
18日 塩津のいな踊 花園の仏舞ほか

#### 文化庁移動芸術祭巡回公演 札幌交響楽団演奏会

10月6日(火)18:30 有田市民会館  
大人 2,000円 学生 1,000円  
〔主催〕文化庁  
和歌山県教育委員会  
和歌山県移動芸術祭巡回公演実行委員会  
有田市移動芸術祭公演実行委員会  
☆モーツァルト ピアノ協奏曲第26番「葬式」  
ブラームス交響曲第2番二長調OP73ほか  
指揮=岩城宏之 ピアノ=安川加寿子  
問い合わせ 07378-3-1111 有田市役所社会教育課

#### デジュラーンキ ピアノリサイタル

10月17日(土)18:30 県民文化会館大ホール  
S 3,000円 A 2,000円 B 1,000円  
〔主催〕和歌山県民文化会館  
☆ベートーヴェン ピアノソナタ第8番ハ短調  
OP13「悲愴」同第31番変イ長調OP110ほか

#### モーツァルトのタベ

10月19日(月)19:30 県民文化会館小ホール  
前売 2,500円 当日 2,700円  
〔主催〕和歌山県民文化会館  
和歌山音楽振興会  
☆ディヴェルティメント変ホ長調KV563  
弦楽五重奏曲ハ長調KV515  
演奏=塩川悠子 数住岸子 今井信子  
井上祐子 安田謙一郎

#### 奇術の祭典

10月25日(日)13:30 県民文化会館大ホール  
入場無料(整理券)〔主催〕和歌山奇術愛好会  
☆和歌山奇術愛好会会員ほかによる奇術  
問い合わせ 0734-53-0477 金沢方

#### 移動県民文化会館 文化講演会

10月27日(火)18:00 那智勝浦町観光会館  
10月28日(水)13:30 串本町立体育館  
10月28日(水)18:00 田辺市公会堂  
入場無料(整理券)〔主催〕和歌山県民文化会館  
☆薬師寺管長 高田好胤  
大阪大学名誉教授 犬養孝

#### けんぶん鑑賞劇場 「あらかじめ失われた恋人たち」

10月28日(水)18:30 県民文化会館小ホール  
一般 3,000円 中・高生 2,300円  
〔主催〕和歌山県民文化会館  
☆本冬公演 作・演出 清水邦夫  
出演=岸田今日子 吉行和子 清水紘治ほか

#### 文化講演会

10月29日(木)18:00 県民文化会館大ホール  
入場無料(整理券)〔主催〕和歌山県民文化会館  
☆薬師寺管長 高田好胤  
関西大学教授 網干善教

#### 和歌山県少年少女合唱団 合同演奏会

11月1日(日)14:00 県民文化会館大ホール  
入場無料(整理券)  
〔主催〕和歌山県少年少女合唱団連絡会  
☆県下の児童合唱団による合同演奏会  
問い合わせ 0734-23-9357 岩橋方

#### 第14回県民合唱祭

11月3日(火)10:00 県民文化会館大・小ホール  
入場無料(整理券)〔主催〕和歌山県合唱連盟  
☆県下の学生・主婦・職場等の合唱グループ  
約70団体、1,800名が参加  
問い合わせ 0734-22-1209 小野田方



#### 文化庁移動芸術祭巡回公演 松竹大歌舞伎

11月5日(木)12:00 県民文化会館大ホール  
S 3,000円 A 2,000円 B 1,000円  
〔主催〕文化庁  
和歌山県教育委員会  
和歌山県移動芸術祭巡回公演実行委員会  
和歌山県民文化会館  
☆仮名手本忠臣蔵 五段目、六段目  
御目見得口上 京鹿子娘道成寺  
出演=中村扇雀 片岡孝夫 市川左団次ほか

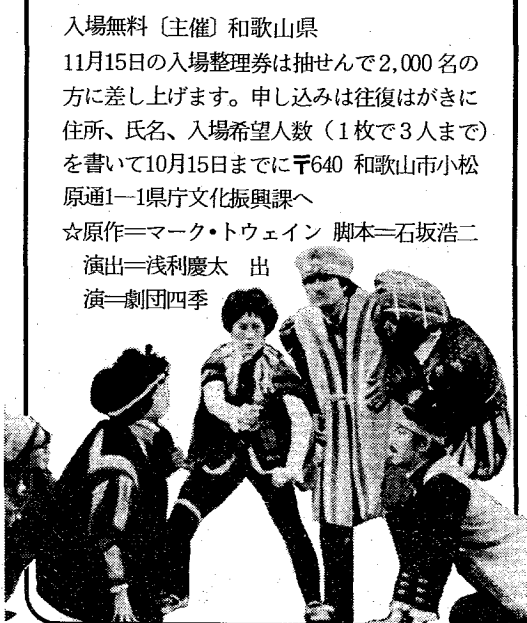
#### 第6回和歌山オペラ協会定期公演

オペラ「コジ ファン トウツテ」  
(モーツァルト作曲)  
11月11日(火)18:30 和歌山市民会館小ホール  
前売 一般2,000円 小・中学生1,500円  
当日 一般2,300円 小・中学生1,700円  
〔主催〕和歌山オペラ協会  
☆出演=和歌山オペラ協会会員  
問い合わせ 0734-23-9357 岩橋方

#### 母と子の名作劇場

#### ミュージカル「王子とこじき」

11月11日(火)10:30 本宮町山村開発センター  
11月12日(水)13:30 白浜会館  
11月14日(土)13:00 龍神村民センター  
11月15日(日)14:30 県民文化会館大ホール  
(入場整理券発行)  
11月16日(月)10:00 県民文化会館大ホール  
13:30 (団体観覧のみ)  
11月17日(火)13:30 吉備町立体育館  
11月18日(水)13:30 岩出町民体育館  
11月19日(木)13:30 かつらぎ勤労者体育センター  
入場無料〔主催〕和歌山県  
11月15日の入場整理券は抽せん2,000名の方に差し上げます。申し込みは往復はがきに住所、氏名、入場希望人数(1枚で3人まで)を書いて10月15日までに〒640 和歌山市小松原通1-1県庁文化振興課へ  
☆原作=マーク・トウェイン 脚本=石坂浩二  
演出=浅利慶太 出演=劇団四季



#### 山崎景子 秋のコンサート

11月14日(土)13:30 古座町古座小学校体育館

一般500円 中・高校生300円〔主催〕和歌山放送  
☆ドイツリート・日本歌曲・オペラのアリア等

#### 現代邦楽演奏会

11月14日(土)13:30 県民文化会館大ホール  
1,500円〔主催〕和歌山県現代邦楽研究会  
☆邦楽器群と西洋楽器との日本的接点を求めて 三十弦箏による現代邦楽ほか  
問い合わせ 0734-36-3341 御前方

#### 邦楽演奏会

11月15日(日)11:00 県民文化会館小ホール  
1,000円〔主催〕和歌山県邦楽家協会  
☆県下邦楽師匠とその社中による邦楽演奏  
問い合わせ 0734-23-3313 本谷方

#### 和歌山自立演劇協議会 第1回演劇フェスティバル

共通券 1,500円〔主催〕和歌山自立演劇協議会

#### 演劇集団和歌山

11月18日(火)18:30 県民文化会館小ホール  
11月19日(水)18:30 前売 大人 1,000円 学生 800円  
当日 大人 1,200円 学生 1,000円  
☆「橋」(マリオ・フラッティ作)  
問い合わせ 0734-45-4537 演劇集団和歌山

#### 劇団コンペイトウ

11月27日(金)18:30 県民文化会館小ホール  
前売 1,000円 当日 1,200円  
☆「Sing a Rage」やさしさなんかに(川峰作)  
問い合わせ 0734-51-2806 田中方  
11月28日(土)18:30 県民文化会館小ホール  
前売 500円 当日 600円  
☆「金属バット殺人事件」(堀内靖大作)  
問い合わせ 07366-2-6590 久保方

#### ポールモーリアグランド オーケストラ演奏会

11月20日(金)18:30 県民文化会館大ホール  
S4,800円 A4,500円 B4,000円  
〔主催〕和歌山放送

#### 小・中学校音楽研究演奏大会

11月22日(日)10:00 和歌山市民会館大ホール  
入場無料〔主催〕和歌山県音楽教育連盟  
☆県下各郡市から推せんされた小中学校による合唱・器楽・吹奏楽演奏  
問い合わせ 0734-36-7111 西和中学校龍野教諭

#### 第18回和歌山県吹奏楽祭

11月22日(日)12:30 串本町立体育館  
入場無料〔主催〕和歌山県吹奏楽連盟  
☆県下各支部からの代表団体によるステージ演奏とドリル演奏  
問い合わせ 0734-71-5391 日進中学校石井教諭

#### 和歌山能楽観賞会第10回公演

11月28日(土)13:00 和歌山市民会館小ホール  
3,000円〔主催〕和歌山能楽観賞会  
☆「班女」松井彬 「阿漕」小林慶三  
ほか狂言、仕舞  
問い合わせ 0734-22-9304 小林方

#### 渡辺貞夫ジャズコンサート

12月2日(火)18:30 県民文化会館大ホール  
3,000円〔主催〕和歌山放送

#### 第10回第九交響曲演奏会

12月12日(土)18:30 県民文化会館大ホール  
3,000円〔主催〕和歌山県「第九」の会  
☆指揮=外山雄三 合唱=和歌山県第九合唱団 管弦楽=大阪フィルハーモニー交響楽団  
問い合わせ 0734-23-0716 和歌山県第九の会

#### 和歌山市シニアコーラス 第7回「メサイア」演奏会

12月20日(日)14:00 和歌山市民会館大ホール  
前売 一般 700円 学生 300円  
当日 一般 800円 学生 400円  
〔主催〕和歌山市シニアコーラス  
問い合わせ 0734-71-0621 向陽高校小林教諭



# 自然公園大会ひらく

## 第23回



営火を囲んで、楽しい交歓のつどい



れた火が野外活動隊に分火され、営火

このあと、自然公園功労者の田和悦夫さん（六十九歳・伊都郡高野町）ら八人と二団体に鯨岡環境庁長官と飯谷知事から表彰が行われ、続いて

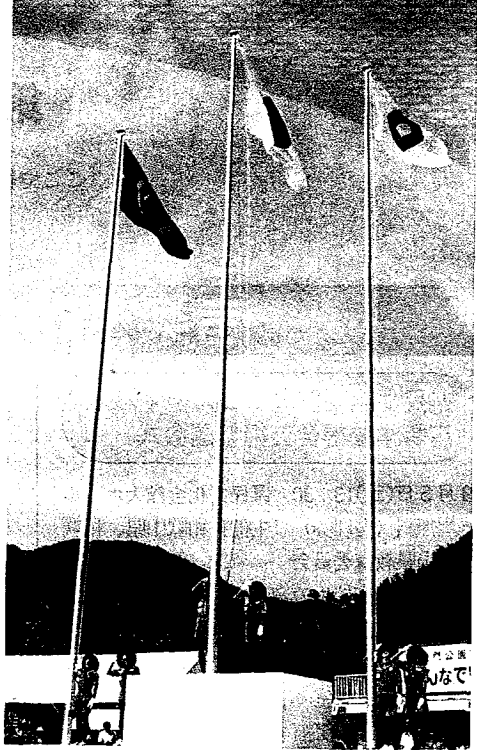
第一日目の式典は、澄み切った青空の下、日本スポーツ少年団を先頭に野外活動隊十団体の力強い行進から始まり

この野外活動隊の中には、国際障害者年にちなんで、障害者のみなさん六十五人も、始めてこの大会に参加。会場から一段と大きな拍手が沸きました。

七月二十七日、二十八日の二日間わたって繰り広げられたこの大会には、県内外から延べ五千六百人が参加、緑の山々と青い海の大自然を満喫しました。

環境庁が主唱している「自然に親しむ運動」の中心行事です。

第二十三回自然公園大会は、三笠宮寛仁親王殿下をお迎えして、きらめく太陽と黒潮香る瀬戸内海国立公園の和歌山市加太・友ヶ島地区で開かれました。わが国の豊かな自然と風土を愛し、尊び、科学精神をつちかい、生活を豊かに——と国立公園地内で毎年開催されている自然公園大会。



▼「私たちは自然に親しむことを通じて自然に対する正しい理解と自然への思いを深め、我が国土を大切に守っていききたいと思います」と皇太子殿下のおこたを伝えられる三笠宮寛仁親王殿下

野外活動隊を代表して、加太中学校三年、名田まさ子さんが「全国から参加されたみなさんと共に、自然を愛し、自然を守ることを誓います」と力強く宣誓。

式典の締めくくりは、地元加太のみなさんが、郷土芸能の勇壮な獅子舞を披露。ロイヤルボックスの三笠宮寛仁親王殿下も身を乗り出され、興味深くご覧になっていました。

真夏の太陽が沈み、夜のどろりとした空が、自然を保護することの意味と重要性について考えてみたいものです。

火が、若い血潮のごとく燃えさかると、和歌山児童合唱団と参加者が「燃えろよ燃えろ」を合唱し、営火行事も最高潮。西下イツ少年少女の民俗ダンスや楽しい交歓のつどいが続き、夜空をこがした営火が友情の火となって参加者の心を一つに結びました。

大会二日目は、各会場に分かれ、自然探勝、オリエンテーリング、テクコロジ、サイクリング、海のレクリエーションの五種目の野外活動が行われ、それぞれの種目の特徴を生かして、自然に親しみ、楽しい一日を過ごしました。

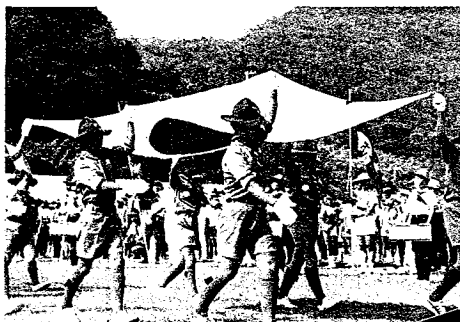
大会二日目は、各会場に分かれ、自然探勝、オリエンテーリング、テクコロジ、サイクリング、海のレクリエーションの五種目の野外活動が行われ、それぞれの種目の特徴を生かして、自然に親しみ、楽しい一日を過ごしました。



▲国旗を先導する和歌浦小学校鼓隊の見事なマーチング



▲野外活動隊を代表して、誓いのことばを述べる加太中学校三年、名田まさ子さん



▲ボーイスカウト和歌山連盟の隊員による国旗入場



▲「自然環境の保全を一層推進していきたい」と式辞を述べる鯨岡環境庁長官



▲「この大会を契機として、かけがえないこの自然を永久に引き継いでいきたい」と決意を述べる飯谷知事



▲祝辞を述べる山崎県議会議長



▲地元を代表してあいさつをする宇治田和歌山市長



▲池ノ上国立公園協合理事長が、力強く開会宣言

## 式典



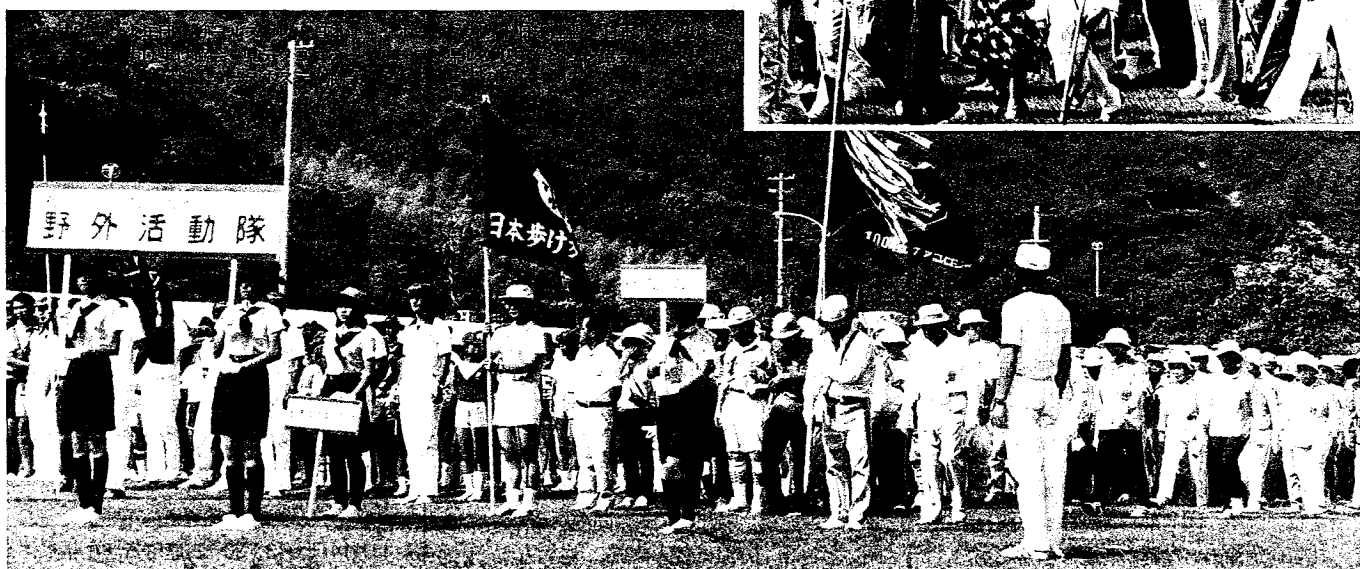
▼和歌山県知事表彰を受ける自然公園功労者（敬称略）  
大平正義和歌山市、田本十郎新宮市、桐本正西牟婁郡大塔村、木下慶二御坊市、自然に親しむ会（海南市・海草郡）



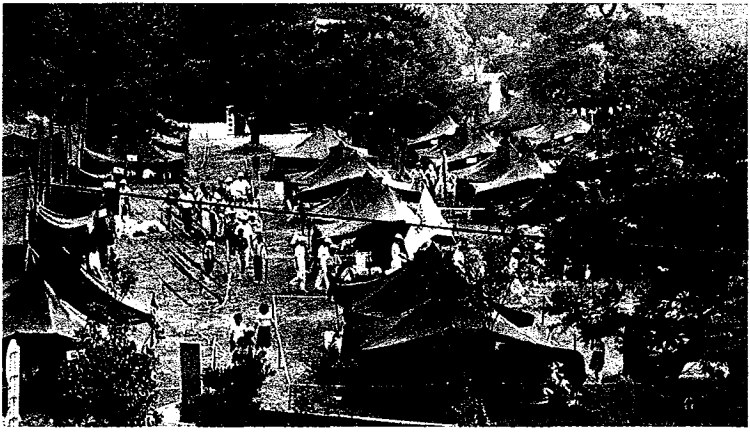
▲環境庁長官から表彰を受ける自然公園功労者（敬称略）  
田和悦夫伊都郡高野町、下家智見石川県、岡村一郎島根県、品川鉄摩（岡崎県、県立三重農業高等学校久住分校生徒会（大分県）

▶国際障害者年にちなんで、初参加した障害者のみなさん

▼隊旗を先頭に入場行進する各野外活動隊



# “みんなで守ろう みんなの自然” 潮風



◀▲さわやかな朝の冷気に包まれる野営場

野 営

テックロジー

▶テックコロ旗を先頭に、足どりも軽く出発（高森山・大川峠10kmのコース）

▼緑の木立の中をテクテクと



野外活動



▲ちょっと疲れたかな？



サイクリング

◀ 32kmと45kmの二つのコースに、約300人が参加。炎天下の中、銀輪を光らせ一路ゴールへ

自然探勝



▲神秘的な深蛇池



▲友ヶ島の天然記念物、深蛇池湿地帯植物群落の説明を聞く自然探勝の参加者



海のレクリエーション

▲海浜スポーツやゲームを楽しんだ海のレクリエーション（加太海水浴場で）

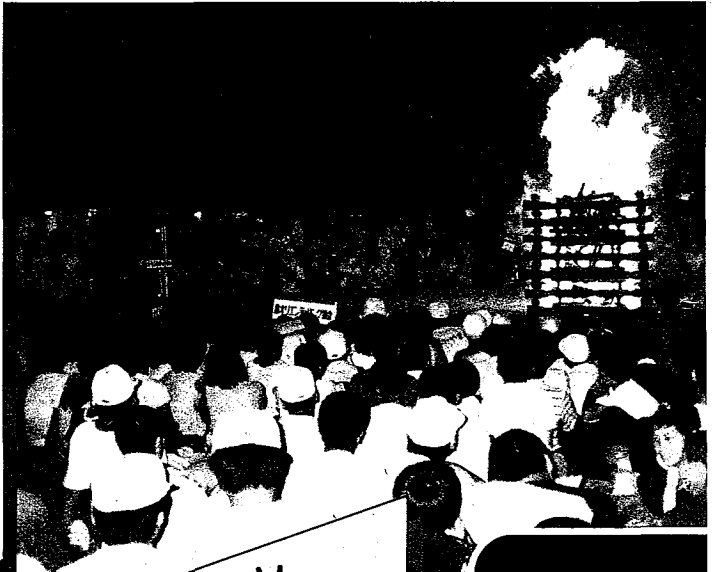


オリエンテーリング

◀決められたポストを順に回り、タイムを競うオリエンテーリング。ポストを捜しあてはっと一息



大会の舞台となった加太・マケ島



火 営

▼日本スポーツ少年団と交流のため来日中の西ドイツの少女少女による民俗ダンス



▲加太、春日神社で採火さ行事もクライマックス



▶営火行事を楽しまれる三笠宮寛仁親王殿下（右端）、順に、正田環境庁自然保護局長、飯谷知事、池ノ上国立公園協会理事長



▲ちよっとてれ皇そう？西ドイツの少女との交流のひとつ



▲式典を盛り上げた、地元加太のみなさんによる勇壮な獅子舞



▼式典に活躍した県警音楽隊

▼紀州おどりふんだらを披露し、大会をはやかに色どった和歌山市の婦人団体のみなさん





同和連載

差別をなくして

いくために

田辺市 長野中学校  
三年 森直美

私は、中学校へ入学してから、身のまわりにある色々な差別をなくしていくためのクラスでの取り組みを続けてきました。

現在、なお残っている部落差別は、江戸時代につくられた身分制度が根本的な問題だと言いますが、もっと昔、弥生時代に米作が行われるようになった時から、権力者が現れて、みんなを支配するようになり、強者が弱者をいためつける差別が生まれました。

江戸時代の身分差別といい、その他のさまざまな差別といい、いつの時代にも差別はあり、数多くの人々を苦しめてきています。

江戸時代の身分制度というのは、大変ひどい差別でした。この身分制度で、低い身分におかれた人々の生活を、今の幸せである私達には、想像ができるでしょうか。

人間が人間としてあつかわれたい……。事実このような差別を、二百年五十年位昔につくりましたのです。

武士たちは、自分たちの利益だけを求めて、とりかえしのつかないようなものをつくってしまいました。それが今の同和問題なのです。

解放令で、今までの制度は廃止され、今まで低い身分におかれてきた人々も平民となつたわけですが、実際はそうではなかったのです。

制度上ではなくなったにしても、まだまだ差別は、あらゆる面で続けられてきました。

現に、今もその差別で苦しい生活を送っている人がいるのです。

今では、同和地区の環境改善も進んで、差別もなくなつたように言う人もいますが、同和地区の人々の心の中までは、まだいやすことができないでしょう。そのために私は、力の限り差別解消のための努力をしなければなりません。

私自身、この差別問題を学習するにあたって、誤解していた事がありました。それは、私が今まで色々と学習してきたのは、差別をうけている人達のためという考え方が大きかったことです。けれどもそれは、差別をうけている同和地区の人達のためということもあるけれど、それ以上に自分のためだということなのです。

差別をしないことも大切だけれど、これからは差別をなくす立場に立っていききたいと思っています。でもそれは、同情の気持ちだけではいけません。同情的な気持ちだけでは、差別もなくなりはいきません。自分が高いつとこにいて見下しているのです。

それでは、いつまでたっても差別はなくならないで、まだあとと長く続くかも知れません。差別というものは江戸時代につくられて、現在でも、なお残されているたいへん根強いものだからです。

この長い時間にわたってつくられた差別を、解決することとは容易なことではなく、私

達一人ひとりが、日常生活の中で差別を見抜き、差別をなくしていく努力を積み重ねていかなければなりません。

私は、差別をなくしていくための学習をしてきて、反省すべき点が多多いことに気付きました。友達だから、じやう談だからといってすます場合もあるかも知れませんが、それが大変悪いことなのだという事です。

相手の気持ちなんか考えずに、あからさまに欠点なんかを言ってしまう場合がありまして、相手の人がどんなに苦しんでいるかを考えると、だれだって悪いことを言えないと思うし、またそんなことは、決してやるべきではないことではないんだということを、頭の中に入れておきたいと思っています。

私もこれから、いつかのよう差別問題に直面するかも知れないけれど、今まで学習してきたことを生かして、「自分だけよかつたらい……」なんていう気持ちをして、相手の人の気持ちを考えたいと思うようになっていきたいと思います。

学習したことが今だけで終わらないように、そして差別ということについて知らないことが、まだまだ多すぎるので、もっともっと学習しようと思っています。

差別をなくして、みんなが楽しくくらすことのできる、そんな日が私達のまわりに、私達の社会に、一日も早く実現するよう力をあわせて努力していきたいと思っています。

感想 (県同和委員会)

この作文を読んで、感じたことを率直に申し上げようと思います。この作文には三つの要点があります。

第一番目には、自分の反省

の上に立って、世の中の差別を厳しくみつめていくことです。

第二番目には、同和教育は、関係地域の人達のためばかりでなく、自分自身のためにも大切であるということを見抜いていることです。

第三番目には、差別は、同情という立場では絶対に解決しないと主張している点です。優越感の上に立った同情などで、差別はなくならないでしょう。同感です。

日常生活の中で差別を見抜き、差別をなくする立場に立つて、今後も同和学習を続けて下さい。

電波で結ぶあなたと県政

テレビ 和歌山放送

ラジオ 和歌山放送

6月 後半

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 16時30分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 18時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 19時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 21時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 22時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 23時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 24時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 25時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 26時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 27時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 28時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 29時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |
| 30時00分 | きくく(再) 受けて安心ノガンの集団検診 |

毎日の生活メモ  
県民チャンネル  
毎日午後6:00と10:55  
県庁より  
毎日午後0:30と5:30

あなたがいつにいつにこの学習が今だけのものとして終わらせないために、しっかり頑張つて、立派な社会人に成長して下さい。



10月 前半

|        |                |
|--------|----------------|
| 2時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 3時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 4時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 5時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 6時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 7時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 8時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 9時00分  | きくく(再) マンスリー県政 |
| 10時00分 | きくく(再) マンスリー県政 |
| 11時00分 | きくく(再) マンスリー県政 |
| 12時00分 | きくく(再) マンスリー県政 |
| 13時00分 | きくく(再) マンスリー県政 |
| 14時00分 | きくく(再) マンスリー県政 |

お台所気象台  
月々土曜9:25  
ふるさとの旅  
月々金曜2:20

お知らせ

県庁は〒640和歌山市小松原通1-1 ☎(0734) 32-4111

☆ごあんない

10月から労働保険の届出書類が大きく変わります

労働省では、10月から新しいオンラインシステムを導入します。

このため、事業主のみなさんから提出いただく労働保険申告書など届出書類の様式や記入方法などが変わりますのでご協力をお願いします。

くわしくは和歌山労働基準局か各労働基準監督署または県庁雇用保険課へ。

国民年金の住所・支払機関変更届はお早めに

国民年金(拠出年金)を受けている人が、住所や年金を受け取る銀行、郵便局を変更したときは、すぐに「住所・支払機関変更届」を提出してください。

もし、この届け出を遅れたり、遅れたらすると支払月になってから届くと届かず、年金の受け取りが遅れます。用紙は、社会保険事務所と市町村役場にあります。必ず手続きをしましょう。

大型住宅建設中古マンション購入の資金を融資

住宅金融公庫が融資する大型住宅建設資金(百二十万平方メートル以上)を、中古マンション購入資金(和歌山市内に限る)の貸出金利が5月1日より、今までの8%から7.5%に引き下げられ一段と有利になりました。また、購入する中古マンションを改良する場合にも併せて融資が受けられます。

受付 昭和57年2月27日まで  
問い合わせ先 住宅金融公庫業務取扱店と表示した金融機関、または県庁建築課へ。

考えよう! みんなでなくそう むだなごみ  
環境衛生週間  
9月21日～27日

戦傷病者、戦没者遺族等  
援護法が改正されました

●障害年金、遺族年金及び遺族給付金の額が4月1日にさかのぼり4.8%引き上げられ、さらに8月からも増額されます。

●満洲義勇隊開隊団員の団員が軍属の範囲に加えられる、該当する障害者有する場合などは戦傷病者の範囲に加えられる。

●戦没者等の妻や父母に対し、継続および再継続給付の特別給付金が支給されます。

●障害年金等を受けている戦傷病者の妻に特別給付金が支給され、また一部支給範囲も拡大されます。

該当される方は請求を。くわしくは市町村役場か県事務所民生課または県庁厚生課へ。

心身障害者  
雇用促進月間  
9月1日～9月30日

みかん生産者の方へ  
みかんは今、摘果の総仕上げの時期です。県や農協では、不良果を「作らない」、市場へ「出荷しない」の三つの運動を進めています。

摘果は、地域や選果場単位で行い、玉よし、味よしのみかんを作りましょう。

社会通信教育受講者の  
研究集会を開きます

開催日・場所 10月18日(月)、伏虎中学校(和歌山市九番丁)  
対象 文部省認定社会通信教育受講者、修了者、受講希望者  
内容 全体会と面接指導(レタリング、保育、文化服装、書道、無線、速記、和裁、建築)

申込 9月30日まではがきに住所、氏名、年齢、職業、性別、受講課程を記入し、〒640和歌山市小松原通1-1、県教育庁社会教育課へ。当日会場でも受け付けます。くわしくは申込先へ。

はかりの定期検査  
取引や証明用に使う「はかり」は必ず検査を受けてください。  
▽田辺市 9月9日、11日、9

☆試験  
警察官 交通巡視員採用試験  
試験区分と採用予定人員 警察官A(四年制大学卒業または卒業見込者) 約25人、警察官B(A以外の者) 約25人、交通巡視員 約6人、受験資格 警察官 昭和29年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれた男子。交通巡視員 昭和34年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれた男子。試験日 10月11日(日) 試験地 警察官 和歌山市、田辺市。交通巡視員 和歌山市、田辺市。願書受付 9月14日、28日、(県庁内)県人事委員会事務局。くわしくは受付先へ。

県職員(初級職)採用試験  
試験区分と採用予定人員 一般事務 約15人、警察事務、農業、林業、電気 各職 約10人。小中学校事務(紀北) 約5人。小中学校事務(紀南) 約10人。受験資格 昭和34年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれた方(四年制大学卒業見込みの方を除く) 試験日 10月18日(日) 場所 和歌山市、田辺市、新宮市、願書受付 9月16日、30日、(県庁内)県人事委員会事務局。くわしくは受付先へ。

職業訓練指導員資格試験  
職種 自動車整備科 試験日・場所 学科試験 10月23日、和歌山技能センター 実技試験 10月24日、県立和歌山高等技術学校 願書受付 9月10日、29日(消印有効)、県庁職業訓練課。くわしくは受付先へ。

下水道伸ばして  
住みよい  
町づくり  
全国下水道促進デー  
9月10日



**和歌山県の動植物 コノハスク**  
小型のミズクで深い森林に住む。夜「ブッポウソウ」と鳴く。主催者の都合で変更することがあります

**県民文化会館** ☎(0734)36-1331  
〒640 和歌山市小松原通1-1

●大ホール ▷きのくにふれあいひろば「われら人間コンサート」9月19日午後1:30(入場整理券)▷チャゲ&飛鳥コンサート10月7日午後6:30(2000~2300円)▷法人税法説明会10月12日午後1:30(無料)▷全日本中学校長会和歌山大会研究協議会10月15日午前9:30(無料)  
●小ホール ▷女性文化教室9月18日午後3:30(テキスト料1000円)▷各流謡曲大会9月19日午前11:00(無料)▷コンサート9月20日午後2:00(400円)▷高校総合芸術祭発表会9月23日午前10:30(無料)▷和歌山北高校演奏会9月24日午後5:30(無料)▷歴史講座9月26日午後2:00(テキスト料1000円)▷木下初江・志波京子・脇田育未ピアノ10月1日午後5:00(無料)▷クレッシェンドコンサート10月2日午後6:30(800円)▷歴史講座10月3日午後2:00(テキスト料1000円)▷8ミリ映画祭10月3日午後6:30(無料)▷部落解放県企業連合会10月7日午後1:00(無料)▷日高節子ピアノ・エレクトーン10月7日午後6:00(無料)▷音楽会10月10日午前10:00(無料)▷歴史講座10月11日午後2:00(テキスト料1000円)▷全日本中学校長会和歌山大会研究協議会10月15日午前9:30(無料)

**県立近代美術館** ☎(0734)36-1331  
〒640 和歌山市小松原通1-1(火曜日休館)  
▷美術サークル連合会9月17日~20日▷和歌山県勤労者美術展9月24日~27日▷特別展「下村観山展」10月3日~26日

**紀三井寺運動公園** ☎(0734)44-7565  
県都市公園事務所 〒641 和歌山市毛見200  
●陸上競技場 ▷職場対抗陸上大会9月20日▷和歌山市記録会9月23日▷定時制高校陸上大会9月27日▷和歌山市中学校総合体育大会10月10日▷マスターズ記録会10月11日  
●野球場 ▷高校野球新人大会9月19日▷職場対抗野球大会9月20日、22日▷高校野球秋季予選9月26日、10月3・4・10・11日(午後)▷和歌山市学童野球大会10月11日(午前)  
●庭球場 ▷職場対抗庭球大会9月20日▷全国レディース県予選10月3日、4日▷天長杯県下軟式庭球大会10月10日▷南海海草地方選手権大会10月11日  
●球技・補助競技場 ▷職場対抗サッカー大会9月19日、20日▷ラグビー社会人Bリーグ戦9月23日、27日

**県立体育館** ☎(0734)22-4108  
〒640 和歌山市中之島向ノ芝195-1  
▷職場体育連盟バドミントン大会9月27日

**県立武道館** ☎(0734)44-6340  
〒641 和歌山市和歌浦西2丁目1-22  
▷柔道進級審査会9月20日▷支部対抗柔道大会・県中学生大会9月27日▷柔道昇段審査会10月4日▷中体連柔道大会10月10日▷柔道形講習会10月11日

**植物公園緑花センター** ☎(07366)2-4029  
〒649-62 那賀郡岩出町東坂本(火曜日休園)  
▷植物趣味教室(科目:秋の原色押花のつくり方(押方))9月27日午後1:00~4:00(科目:秋の原色押花のつくり方(仕上げ))10月4日午後1:00~4:00 対象:一般愛好者、定員(80名)▷植物公園秋のまつり(秋の山草展、生け花展、秋の原色押花展、花き植木展)10月9日~11日  
※教室の受講申し込みは、開催日の10日前までに電話かきがでセンターへ。

## 催し

私の子どもが脳性小児まひの診断を受けてから十四年、この四月で南紀養護学校中部二年生にまで成長することができました。

学齢期までの、病院生活の方が多かったと思われた状態からみれば、右半身まひと、ちえおくれの重複障害をもちながら、こんなに大きくなり、毎日元気に学校に通えるようになってくれたものとしみじみ思います。

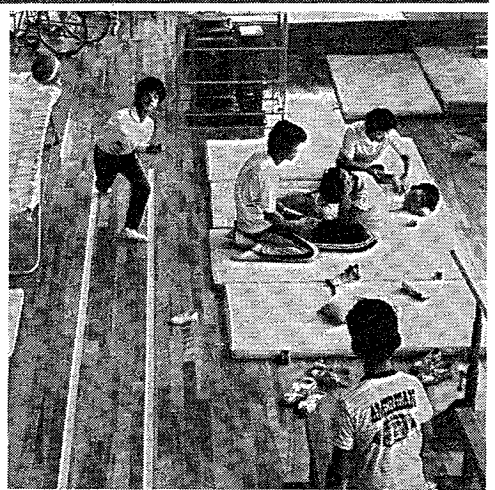
この間、学校という集団の中で、私達父母も、同病相あわれむ気安さから押し殺していた自分をさらけ出して、それぞれの悩み、悲しみを語り

父母と教師の懇談会(学校)地区別懇談会等が、回を重ねるごとに、一枚ずつ、とりつくるた衣を脱いで、私達の裸の学習の場になっていきました。

今日の不況の中で、養護学校を卒業したけれど、施設を退園したけれど、行く所がない。やむなく在宅になってしまひ、ひとりさびしく過ごさねばならなくなっているのが実情であります。

**だれもが生きていてよかったと思える世の中に**

南紀養護学校保護者 福田 俊次



南紀養護学校で

**完全参加と平等を実現するために……**  
(その10)

の父母も参加して行われましたが、その中で、ある父母は「我が子が障害児とわかったその日から、死にものぐるいで育て、学校の先生の協力も得て、できるだけ生きる力をつけてやりたいと勉強させ、やっと学校を出ても行く所がない。普通の子どもなら学校を終えれば親の元を離れて、ひとりだちして行くのに、障害を持つ子どもは再び親の元に帰されてくる。

たえ能力は低くても、働くことは人間にとって最も基本的権利のひとつだと思えます。そして、それは、どんなに障害が重くても奪ってはならないものです。

れ、私達障害児者をかかえる家族の未来への展望の灯となつております。

どんなに不利な条件を背負って生まれようとも、地域社会の中で、社会を構成するひとりの人間として、ともに生きていけるように、だれもが、本当に生きてきてよかった、と思えるような世の中に一日も早くなつてほしいと、そればかりを願う毎日の中で、とりとめもなく父母の願いを書きつづりました。

**県民相談**

【常設相談】月・土曜日 県行政への要望や日常生活での悩みごとについて

【移動相談】(弁護士が同行)本宮町山村開発センター(9月18日)田辺市青少年研修センター(9月22日) 那賀町役場大会議室(10月6日) 時間は午後1時~4時

**交通事故相談**

【常設相談】月・土曜日 場所 交通事故相談所(県庁本館二階) 紀南駐在所(東牟婁郡合志一階) 9月19日(土) 10月3日(土)午前10時~正午 場所は常設相談と同じ

【巡回相談】▽西牟婁郡事務所 9月16日、22日、29日午前11時~午後4時 10月6日、13日正午~午後4時 伊都郡事務所 9月24日午後4時~伊都郡事務所 9月24日午前10時~午後4時 日高郡事務所 10月5日午前11時~午後4時 有田郡事務所 10月7日午前10時~午後4時 串本町役場 10月14日午前10時~午後4時

私達も、作業所づくりの中で、我が子からすべての障害者へ、社会連帯へと一歩ずつ視野を広げてきています。

幸いにして、54年度、養護学校教育義務制実施と同時に和歌山県では、心身障害者小規模通所授産事業に対する補助制度が設けられ、予算化さ

【巡回相談】▽西牟婁郡事務所 9月16日、22日、29日午前11時~午後4時 10月6日、13日正午~午後4時 伊都郡事務所 9月24日午後4時~伊都郡事務所 9月24日午前10時~午後4時 日高郡事務所 10月5日午前11時~午後4時 有田郡事務所 10月7日午前10時~午後4時 串本町役場 10月14日午前10時~午後4時

県庁は〒640和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

**北方の領土かえる日 平和の日**

**募 集**

障害者のみなさん！  
機能開発訓練を受けてみませんか

**消防設備士の特例試験**

ガス漏れ火災警報設備の設置工事や整備は第4類の消防設備士でなければできません。このための特例試験です。

試験種類 甲種第4類 試験日 10月7日か10月13日のうちどちらか一日 場所 県農協会館(和歌山市 願書受付 9月17日、18日に県庁消防防災課各県事務所総務課へ。くわしくは受付先へ。

植物公園緑花センター ☎(07366)2-4029  
〒649-62 那賀郡岩出町東坂本(火曜日休園)  
▷植物趣味教室(科目:秋の原色押花のつくり方(押方))9月27日午後1:00~4:00(科目:秋の原色押花のつくり方(仕上げ))10月4日午後1:00~4:00 対象:一般愛好者、定員(80名)▷植物公園秋のまつり(秋の山草展、生け花展、秋の原色押花展、花き植木展)10月9日~11日  
※教室の受講申し込みは、開催日の10日前までに電話かきがでセンターへ。

**黒潮研究所の設置に関して**

有田郡吉備町 川口泰弘さん(38)

**県政へひとこと**

**福祉施設の職員を募集**

採用予定人員 指導員(大学、短大で心理学、社会学、教育学を修めた若者)教員免許を持つ大学、短大を卒業した25歳までの方(若者)人。介護員(高校を卒業した22歳までの方)若者人。勤務地 古座町、上富田町、白浜町、由良町の施設 応募 10月15日までに〒640和歌山市中之島一九五、和歌山県福祉事業団 ☎(0734)33-11510へ。くわしくは応募先へ。

新聞紙上で、黒潮研究所の誘致を国に働きかける計画のあることを知りました。これについては、私も昨年、県政への提言で述べましたが、理論および技術は横須賀市にある海洋科学技術センターに任し、和歌山県では未来エネルギーとしての海水ウランおよび重水素の回収に向けての実験地として働きかければ、もっと有利になると思います。さらに基地として、人工島よりも串本町大島を有効に利用できないものではないでしょうか。(県企画室)

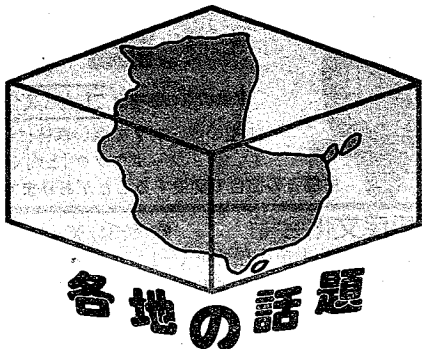
県政へひとこと

**職業訓練生和裁科募集**

訓練対象 同和対策地区住民の方(婦人)または募集の方で公共職業安定所長の受講指示を受けられる方。科目 和裁科(定員10人) 期間 10月1日~来年3月31日 場所 和歌山総合学院(和歌山市教習所町4) 申込 9月19日までに最寄りの公共職業安定所へ。くわしくは申込先か県庁職業訓練課へ。

式庭球、美容体操。少年少女バレーボール、バスケットボール、体操。成人バレーボール、バドミントン、健康体操。以上申し込みは往復はがきで9月26日(消印有効)までに和歌山県小松原通一(県教育庁保健体育課内県体育協会へ。身体障害者バレーボール、バスケットボール、バドミントン。申し込みは10月5日~9日まで、直接県体育協会に受け付けます。【県立武道館】婦人剣道。少年少女剣道。剣道。申し込みは10月1日~6日まで直接県立武道館へ。くわしくは県体育協会 ☎(0734)33-14408へ。





## サイクリングでひと汗を

〔日高地方〕

安珍清姫物語で有名な、日高川の上流七ヶ峠の大自然の中に建設された、川辺町サイクリングターミナルは、四月のオープン以来県内はもとより全国から毎月千人を超える利用者があり大盛況です。

このターミナルは、青少年の

健全育成を目的として、(財)自転車道建設協会の委託で町が建設したもので、八十人の宿泊設備と研修会場、それに貸出用のサイクリング車五十台を用意しています。

サイクリングコースは、歴史を訪ねる道成寺コース(16・3

## 成功した 富有柿のハウス栽培

〔伊都地方〕

富有柿の産地ですが、最近柿も産地間の競争がはげしく、柿専業農家の経営の安定をはかることが急務となっています。

かつらぎ町笠田東の辻三郎さん(60)は、県の農業改良資金融資をうけ、伊都農業改良普及所の指導で富有柿の無加温ハウス栽培を三年前から手がけています。

栽培規模は十アールで、九年生の結果樹に一月下旬にハウスをかけます。

この方法だと開花時期は一月



## 太陽熱利用で土の消毒試験を開始

〔那賀地方〕

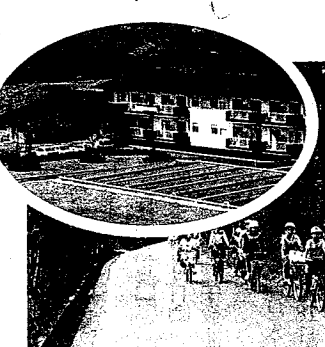
土から伝染する野菜や花などの病気は農業では十分に防ぐことができません。

そこで県農業試験場では、太陽熱を利用して、土からの病気を防ぐ試験を開始しました。

その方法は、七月二十日頃から八月の下旬にかけての一番暑い時期に、畑に堆肥と石灰チッソを施し、土をよく耕し、さらに水を十分やって、写真のように透明なビニールフィルムなどをすきまなく敷きつめ三週間ほど間隔をおきます。こうすると、土の温度は日中には、深さ十五センチで四十二度位に上がります。それを長い間繰り返すと土の中の病原菌は死んでしまい、健全な土壌にもどります。



早くなり、収穫時期も十日程度早くなります。この日数の差は大きく、出荷先の東京方面では相当の高値で取引されています。



## 新大夫置文にみる 近世中期の農民

新大夫置文にみる 近世中期の農民

十八世紀の中頃、有田郡系我村(現有田市)に児玉新大夫という人がいました。このあたりはみかん栽培の本場で、農業生産性の高い地域であり、新大夫は児玉家の四代目として村では指導的な立場にあつて敬慕されていました。

新大夫は、安永四年(一七七五)四十八歳の時、子孫のために書きとめた置文を残しています。この置文には、新大夫の思想と行動のほか、当時の有田地方の農村生活が具体的に書かれていて、まことに興味深いものがあります。

新大夫の眼

系我井関(用水)の溝筋は、

紀南山間地域では、水稻の単作が中心でしたが大塔村富里地区を中心に、昭和五十三年に長野県よりミョウガの種根を導入し、本格的な栽培に取り組み、定着してきました。

このミョウガは夏ミョウガで、五月下旬から七月下旬にかけて出荷され、香りの良さで夏の風味のある野菜として珍重されています。

また、早期に大阪方面に出荷されるため、価格が安定して有利です。

現在、七五戸の農家が二ヘクタールの栽培をしており、十アールあたり三百kgの収穫が見込まれています。

## ミョウガづくり本格的に

〔西牟婁地方〕

西牟婁農業改良普及所でも水田の転換作物として、田辺市、大塔村、日置川町の各山間水田地域の推進作物として取り上げ、集団産地づくりに力を入れることにしています。

伯父に連れられて房州波左間(現千葉県館山市)に行き、黒江漆器の行商に従事しました。壮年期には密柑方の荷主代として江戸に赴き、みかん販売の第一線に立って江戸の問屋たちと渡りあっています。

こうした経験が、彼の人間形成に大きな影響をおよぼしたのでしょう。江戸や他国の実情を知ったうえで、身近な事柄を書きとめていくことは生涯郷里を離れることのできなかつた当時の農民が、どうして持ち得なかつた新大夫の視野の広さを感じさせます。

この置文は、一和歌山県史近世史料三に全文が掲載されています。

また、彼は農業経営に合理的な考えをもっていました。一定の面積にかかる年貢のほか、諸費用、ほしか(肥料)の購入費などを細かく試算したうえで、食糧の自家消費量をも考え、効率のよい経営方法を見いだそうとしていました。当時としては、きわめて近代的な考えをもっていた点は注目すべきでしょう。

当然のことながら、彼は、幕藩体制に順応することが家の繁栄につながる、という倫理観に立っていました。しかし、明和五年(一七六七)に加茂谷で打ち壊しが起こったとき、襲われた塩津浦の商人について、まことにこれは正直でないからであると、藩と結んで利益をあげた人々に批判的な眼を向けています。

また、彼は農業経営に合理的な考えをもっていました。一定の面積にかかる年貢のほか、諸費用、ほしか(肥料)の購入費などを細かく

新大夫は十三歳のときから

新大夫置文、子孫の有田系我町西牟婁六郎氏所蔵

新大夫は十三歳のときから

新大夫置文、子孫の有田系我町西牟婁六郎氏所蔵

新大夫は十三歳のときから

新大夫置文、子孫の有田系我町西牟婁六郎氏所蔵

新大夫は十三歳のときから

新大夫置文、子孫の有田系我町西牟婁六郎氏所蔵

新大夫は十三歳のときから



- 高野龍神スカイライン、開通一周年(7月21日)
- 開通以来、十五万二千六百九十八台の車が通行。
- 和歌山県社会福祉大会開催(7月23日、有田市民会館)
- 関係者約千人が参加し、「完全参加と平等の実現のために」をテーマにシンポジウムを。
- 青年海外協力隊の本県隊員出発(7月25日、29日)
- 日高郡南部町の浜野真一さん(60)はケニアへ、伊都郡かつらぎ町の上北和也さん(60)と和歌山市の玉置武司さん(60)はネパールへ。
- 第23回自然公園大会開催(7月27日、28日、和歌山市加太・友ヶ島)四、五面に関連記事
- 若年母子家庭激励会(7月30日、31日、白浜町しらゆり荘)
- 知事が一日お父さんになって母子家庭の母と子五十一組を激励
- みどりのバス教室に三百五人が参加(8月10日、植物公園緑花センター、高野山)
- 少年の主張県大会開催(8月13日)
- 県下の中学生十六人が自分の考えを主張。森田泰充さん(11)石垣中三年(金屋町)が金賞に。
- 県政親子バス教室(8月4日、10日)
- 小学校四年生以上の子どもと親が県の施設や仕事を見学。
- 安孫子自治大臣来県(8月5日、6日)
- 那賀町の同和対策事業の推進状況を視察。(写真右から三人目)



▽緑の山々、紺碧の海。この大自然の中で行われた自然公園大会は、大勢の方々の支えがあつて開催できたもの。みんなが誓った自然愛護と友情の輪の広がりを、いつまでも大切にしたいものです。

あとがき

▽人生の先輩で、豊富な知識と経験を持つお年寄りの力をみんなが生かそう——をテーマとした今年の老人福祉週間。みなさんの地域や家庭ではどう生かされていますか。